

# 課題研究全校成果発表会・講演会

FEWC(フューク)プログラムは地球市民・グローバルリーダーの育成を目指す群馬県立中央中等教育学校独自の教育プログラムです。FEWC プログラムの中核をなす課題研究の成果発表と、世界をより良くするための学びの機会となる講演会を、本年度は一般公開にて開催いたします。

主催

群馬県立中央中等教育学校

日時

令和6年 3 / 21 (木) 10:00~15:00

発表会 10:00~(開場9:40)

講演会 13:30~(開場13:00) ※発表会、講演会いずれかのみのご参加も可能です

会場

ベイシア文化ホール (一般公開) ※申し込みは不要です

(前橋市日吉町1丁目10-1)

プログラム

10:00 開 会

第 1 部

各学年代表生徒による課題研究発表

1年 身近な地域とSDGs 2年 群馬探究 3年 日本探究

4年 世界探究 5年 世界へ発信(英語による発表)

第 2 部

各種コンテスト出場・入賞者による発表

明石プロジェクト(模擬国連、英語ディベート、イノベーション各班) 活動報告

指導助言: 鈴木 鉄忠氏(東洋大学国際学部国際地域学科准教授)

12:00 昼食・休憩

13:30 講演会

「持続可能な世界のためのイノベーションとリーダーシップ」

講師: 白幡 晶彦氏(シュナイダーエレクトリック日本統括代表)

15:00 閉 会

講演会講師 白幡 晶彦氏 経歴:

1994年日商岩井(現双日)でキャリアをスタートし、2003年米ゼネラルエレクトリック(GE)を経て、2013年にシュナイダーエレクトリックに入社。南アフリカ、北米、香港などで勤務、世界中でビジネスを行い、グローバル組織のマネジメントにも携わった経験から、日本におけるグローバル人材の育成に取り組んでいる。2018年より日本市場におけるシュナイダーの全事業を管轄する統括代表(クラスタープレジデント)およびシュナイダーエレクトリックホールディングス(株)代表取締役社長。

シュナイダーエレクトリックは、フランスにルーツを持つ世界的な多国籍企業で、エネルギーマネジメントとオートメーションのスペシャリストとして、サステナビリティとデジタルトランスフォーメーションの推進に取り組んでいる。カナダの調査会社であるコーポレート・ナイツ社が、世界経済フォーラムのダボス会議で発表する、「世界で最も持続可能な100社」に13年連続でランクインし、2021年には世界1位を獲得している。

